



**Foundation for a Smoke-Free World、たばこ業界およびニコチンのエコシステムに働きかけると共に
スモークフリー指標 (Smoke-Free Index[®]) を通して変化を促進**

*同基金は、この世代中に喫煙の全廃を実現するため、業界アクションの指標開発のための
提案要請を発行*

ロンドン、英国 (2018 年 9 月 13 日) – Foundation for a Smoke-Free World は今日、Global Tobacco and Nicotine Forum においてスモークフリー指標 (Smoke-Free Index[®]) を開発し導入するための提案を求める旨を発表しました。この指標は、スモークフリーの世界実現に向けた業界の進捗状況を厳しく評価すると共に、その前進を阻むアクションを査定するものです。これは回避可能な早死と疾病の原因となる主要製品、すなわち可燃性たばこが存在しない世界を実現するために必要な、世界のたばこ業界とニコチンのエコシステムの将来的変革についてさらに調査することによって、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約 (World Health Organization Framework Convention on Tobacco Control: WHO FCTC) における取組みを補完するものです。

スモークフリー指標は、効果的な変化を推進するために業界が実践している事柄を報告する同基金の「業界変革」の取組みの一環であり、この世代中にスモークフリーの世界実現を目指すという最終目標の支柱となるものです。同基金は、今がこの変革プログラムを実行する理想的な時だと考えています。それは近年、これまでに先例を見ない革新的な技術により、特に可燃性たばこの煙より健康上のリスクをもたらす可能性が低いと考えられるニコチン含有製品へ向かう流れが見られるからです。同基金は、この指標を首尾よく導入し、投資家および政策立案者が理解、重視、活用する測定基準を開発するために、批判者を含む多岐にわたるステークホルダーを関与させる方針です。

「健康分野における世界のシニアリーダーたちは、たばこ業界の変革の重要性と、それがソリューション構築への関与の仕方に意味することを理解し始めています。たばこ会社は、もともとずっと前の段階で、自分たちが市場でもつ力を活用し世界中から可燃性たばこを全廃するため、はるかに断固とした態度で行動すべく、相互により大きな影響を与えるべきだったのです」と、Foundation for a Smoke-Free World のプレジデントであるテレク・ヤック博士は述べています。

同基金は、最初の年間スモークフリー指標を開発、導入するために、適格な研究機関に対し[提案依頼書 \(RFP\)](#) を発行します。応募機関は、同基金の目標との整合性、専門知識と過去の経験、グローバルな調査能力、品質保証および監督プロセスの実績、コスト、タイムラインなど多くの基準に基づいて評価されます。すべての応募機関は、たばこ会社および電子たばこ会社から独立した組織でなければなりません。RFP のプロセスを通して 1~3 つの補助金受領者を決定し、それらは同基金と独立した形で活動することになります。

FOUNDATION FOR A SMOKE-FREE WORLD

スモークフリー指標は、会社が業界変革にどのように取り組んでいるかを示す、定量化できる証拠を提供するものです。同基金は、研究および開発に関する検証可能な測定基準の収集および編集、たばこ製品を段階的に廃止するための資本支出、市場支出、投資対象のシフトなど、数多くの成果を予測しています。さらに補助金を供与された機関は、違法行為や望ましい企業行動に反する行為に関する検証可能なデータおよび具体的事例を収集するために、その指標を使って体系だったアプローチをします。

「私たちの主な目標は、命を救うことです。この基金は業界からの基金を受領しますが、独立性を保証するため拘束力のある誓約契約が導入されています。ですから、どのたばこ会社についても、恐れることなく堂々と批判することができます。技術破壊とたばこ業界およびニコチンのエコシステム自体の構造変化により前進が可能になり、また加速化することでしょう。こうした構造変化は、大手企業から始まります。」とヤック博士は続けます。

スモークフリー指標の RFP [提出プロセス](#)に関する詳細は、同基金のウェブサイトに記載されています。RFP のプロセスは 2018 年末で完了し、2019 年 1 月に補助金受領者が決定されます。最初のスモークフリー指標は 2020 年前半に出版され、以後、それに続いて毎年レポートが発行されます。

FOUNDATION FOR A SMOKE-FREE WORLD, INC.について

Foundation for a Smoke-Free World は、この世代中に喫煙を全廃することにより世界の健康状態を改善することを目標に掲げる、独立非営利機関です。同基金は、健康、科学および技術、農業変革への取組み、業界の変革という、3 つの支柱を通して目標を支援します。同基金の健康、科学および技術における活動は、継続的なたばこ管理への取組みを補完するもので、喫煙者が集中して住む国に注力します。そこでは禁煙および害の少ない製品への切り替えを促進するために、喫煙者にフォーカスした課題に対応します。農業変革への取組みは、たばこ依存型経済の多様化を図ることを目指し、同基金の業界変革への取組みは、世界中のたばこ業界およびニコチンのエコシステム内での変化を実現することにフォーカスするものです。

同基金は Philip Morris International (PMI) から、2018 年から向こう 12 年間にわたり、年間 8,000 万ドルの資金拠出誓約を得ています。同基金の規約および「誓約契約」に基づき、通常 PMI およびたばこ業界は、同基金がその基金をいかに使い、活動をいかにフォーカスするかに関していかなるコントロール力もしくは影響力も持たないことになっています。同基金が誓約された年間の基金を受領することは、誓約者のいかなる製品を是認することをも意味しません。

同基金に関する詳細情報は、www.smokefreeworld.org をご参照ください。

###